

京都の土地改良



第22回水・土・里ふるさと写真コンクール 金賞 「若葉を摘む」 北西孝司

年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会 会長	田 中 英 夫	2
京都府知事	西 脇 隆 俊	3
全国土地改良事業団体連合会 会長	二 階 俊 博	4
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進 藤 金 日 子	5

主な活動報告

令和7年度理事会並びに監事会	6
第47回全国土地改良大会 佐賀大会	7
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	8
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動	9,10
農業農村整備事業に関する意見交換会（キャラバン）	11
令和8年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	11,12

研修会等

令和7年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会	13
京都水土里ネット女性の会の取組	14
令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修	15
令和7年度換地事務新規担当者研修会	15
令和7年度農業水利施設省エネルギー化技術実践向上研修	16
令和7年度農業農村整備技術実践向上研修	16
水土里相談の取組	17
弁護士相談会を初めて実施	17
京都府農林水産フェスティバル2025	18
令和7年度京都府農林水産業功労者表彰	18

会員紹介

土地改良区等紹介【亀岡市亀岡土地改良区】	19
----------------------------	----

その他の活動等

叙勲受章者の紹介	20
非補助農業基盤整備資金	20
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組	21
京都府ため池サポートセンターの取組	22

事務局だより

土地改良区運営実態調査、水土里ビジョンの策定、今後の行事予定	23
--------------------------------------	----

年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会 会長 田中英夫



新年あけましておめでとうございます。

令和8年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様にご挨拶申し上げます。

また、日頃から、本連合会の運営並びに諸事業の推進につきまして、多大のご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年6月に、「新たな土地改良長期計画」が策定されました。

もとより、我が国の農業農村は、国民に食料を安定供給するとともに、その営みを通じて国土の保全などの役割を果たしている、まさに「国の基^{もとい}」であります。しかしながら、人口減少・高齢化、インフラの老朽化、自然災害の激甚化・頻発化など、農業農村を取り巻く環境は大きく変化しております。

こうした中、一昨年に「食料・農業・農村基本法」が四半世紀ぶりに改正され、これを受けて、昨年4月に「食料・農業・農村基本計画」の策定、「土地改良法」の改正が相次いで行われました。更には、6月に「第一次国土強靱化実施中期計画」が策定されたところであります。

「新たな土地改良計画」は、それら法や計画を踏まえながら、農業構造転換集中対策期間（令和7年度から11年度まで）において、集中的な対策を示す指針として、重点的に取り組むべき施策を位置づけて、将来にわたって食料自給力を確保し、活力ある農村を次世代へと継承していくための計画であります。

具体的には、より効率的な営農と担い手への集積・集約のための大区画化等のほ場整備、水利施設の整備や保全管理のための補修更新、災害の未然防止のためのため池改修や排水機場の更新等、更に中山間地域等ではスマート技術の活用など地域の実情に応じた生産基盤整備や共同活動の体制強化などがあります。

これら事業実施と効果発現を加速化させるために必要となる令和8年度の農業農村整備事業関係予算につきましては、昨年末に閣議決定された当初予算4,504億円と、既に成立している補正予算2,439億円と合わせて6,942億円と、442億円の増額となっております。

このような予算が示されましたことに、農林水産省御当局をはじめ関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、進藤金日子参議院議員が土地改良の代表として、度重なる現地での視察や意見交換を通じて、我々土地改良関係者の声を国政の場に届けていただいた賜と考えております。

本連合会におきましても、こうした予算を活用し、会員の皆様が行う土地改良事業は勿論のこと、本会独自で実施しております会員支援事業の適用など、きめ細やかな会員支援を、丙午の今年、更に力強く進めて参りたいと考えております。

結びに、皆様方がご健康で幸多き年になりますようお願い申し上げます。私の新年のご挨拶と致します。

未来に向けて輝き続ける 京都づくりに挑戦

京都府知事 西脇隆俊



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会ともなりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥が「風姿花伝」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしなやかに結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたたかい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支「午」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

年頭あいさつ

全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊 博



令和8年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業農村整備事業の推進に対し、関係各位の格別の御理解と御支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で記録的な猛暑や集中豪雨など、気候変動の影響が一段と顕著となり、皆様の地域にも大きな影響を及ぼしたのではないかと存じます。

豪雨等により被害を受けられた地域の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

いま、国際社会は、地球規模で頻発する異常気象や世界的な物価高騰などの諸問題に直面しています。一方、我が国の農業・農村は、農業者の高齢化や減少により、農業の継続やそれを支える農地や農業用水の保管理が困難になるなどの課題を抱えるなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しています。

これらの様々な問題の解決のために、食料・農業・農村基本法や土地改良法の改正が行われ、そして、新たに策定された土地改良長期計画に基づき、令和7年度から11年度までの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとなりました。

競争力のある農業を支える「大区画ほ場整備」や「スマート農業に対応した基盤整備」、また、「中山間地域におけるきめ細かな整備」をスピード感を持って進めていかなければなりません。

本年の干支は「午」ですが、“前進”“飛躍”の年とされています。まさに地域農業が新たな局面へ踏み出す一年となりますことを願うところであります。

令和8年度農業農村整備事業関係予算 政府原案においては、農業構造改革を集中的に進めるため、4,504億円が計上され、令和7年度補正予算を加えると6,942億円となります。

皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかにお過ごしになられますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

新年にあたって

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員

進藤金日子



あけましておめでとうございます。京都府土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、昨年は、農政、国土強靱化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靱化実施中期計画も策定されました。10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靱化計画(通称サナエノミクス)が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

3月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保安全管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

6月には第一次国土強靱化実施中期計画が策定され、令和8年度から令和12年度に推進が特に必要となる施策目標を設定、5年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目途としました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靱化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間で別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円(昨年比442億円増)となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力をお願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。

令和7年度理事会並びに監事会

理事会並びに監事会・監査が開催され、すべての議案が承認されました。

■ 第1回監事会・第1回監査

- 日時 令和7年7月23日(水) 午後1時から
- 場所 本会役員室

〈監事会〉

- (1) 令和7年度の監査計画について
- (2) 令和7年度(第1回) 収入支出補正予算の承認について
- (3) 本連合会と理事との契約について

〈監査〉

- (1) 令和6年度事業報告書
- (2) 令和6年度収入支出決算書(案)並びに財産目録
- (3) 積立金の管理状況
- (4) 現物確認



第1回監事会 第1回監査

■ 第1回理事会

- 日時 令和7年7月26日(土) 午後3時から
- 場所 都ホテル京都八条(京都市南区)

〈議事〉

- (1) 令和6年度事業報告書の承認について
- (2) 令和6年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- (3) 令和7年度(第1回) 収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について
- (4) 参与の解嘱について
- (5) 参事の任免について



第1回理事会

■ 第2回理事会

- 日時 令和7年12月6日(土) 午前11時30分から
- 場所 京丹後市久美浜町 和久傳ノ森

〈議事〉

- (1) 京都府土地改良事業団体連合会処務規程の一部変更について
 - (2) 京都府土地改良事業団体連合会職員職員退職給与規程の一部変更について
- 理事会終了後に府営農業競争力強化農地整備事業
平田地区視察



第2回理事会(平田地区視察)

第47回全国土地改良大会 佐賀大会

令和7年10月15日(水)、第47回全国土地改良大会(佐賀大会)が『水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来』をテーマに、佐賀県佐賀市の「SAGAアリーナ」で全国各地から4,430名の土地改良関係者が参加(京都からは会員・事務局等117名が参加)を得て開催されました。

オープニングセレモニーでは、佐賀県紹介映像、歓迎アトラクションとして篠笛の演奏が披露されました。

大会式典は、開会宣言に始まり、国家斉唱のあと、田島健一佐賀県土地改良事業団体連合会会長が開会挨拶、二階俊博全国土地改良連合会会長が主催者挨拶、山口祥義佐賀県知事、坂井英隆佐賀市長の歓迎のことばに続き、笹川博義農林水産副大臣、宮原真一佐賀県議会議員、全国水土里ネット会長顧問進藤参議院議員の来賓祝辞がありました。続いて行われた、土地改良事業功績者表彰では、京都府から前宇治田原町長の西谷信夫様が全土連会長表彰を受賞されました。

その後、青山健治農林水産省農村振興局次長から基調講演が行われ、続いて、事例発表として、久原英之白石土地改良区主事・江口功汰主事から「白石地域の農業農村の将来に向けて-白石土地改良区の変換-」の報告がありました。

大会宣言は、宮崎憲治鹿島市土地改良区理事長、中原忍佐賀東部土地改良区管理課長、土井楓佐賀県土地改良事業団体連合会技師が、『水土里ネットが力を合わせ、互いに支えあい、国民共有の貴重な財産である「水・土・里」を次の世代に引き継ぐことを』を佐賀の地から全国に向けて、高らかに宣言し、満場の拍手が寄せられました。

最後に、次期開催県である奈良県に大会旗引継ぎが行われ、奥野信亮奈良県土地改良事業団体連合会会長の挨拶の後、西田祐子さんが水土里ネット女性の会会長、織田伊津子副会長の挨拶で閉会となりました。

大会終了後、宿泊地である佐賀市内のホテルにおいて、京都府の参加者により交流会を行いました。交流会では、田中英夫会長のあいさつに始まり様々な情報交換が行われ、盛会の内に終了しました。

翌日は、本会が設けた独自事業視察コースに108名の参加をいただき、みやき町の佐賀揚水機場と、神崎市の筑後川下流右岸農地防災事業 千代田線を視察しました。



式典会場



全土連会長表彰受賞 西谷信夫氏

大会参加の皆様



(バス1号車)



(バス2号車)



(バス3号車)

「農業農村整備の集い」への参加と要請活動

全土連主催「農業農村整備の集い」が、東京都千代田区で、全国から都道府県土連、土地改良区、市町村などから多くの参加のもと、開催されました。

鈴木農林水産大臣の出席もいただきながら、土地改良事業の推進と国の土地改良事業関係予算の確保などをしたための要請書を採択し、関係国会議員などへ要請活動を実施しました。

- 日 時 令和7年11月26日(水)
- 会 場 砂防会館別館「シェンバツハ・サボー」
- 参 加 者 全国から約1,200名(うち国会議員約50名)(府内参加者10名)
巨椋池土地改良区 井ノ口 理事長、上原 事務局長
京丹後市農林水産部 金子 農林整備課長
京田辺市経済環境部 柳里 農地活性化係長
京 都 府 長澤主幹(農村振興課) 他2名
本 会 田村常務理事 他2名
- 要 請 活 動 採択された要請書により、京都府関係国会議員及び全国水土里ネット会長会議顧問の国会議員(計6名)へ要請活動を実施。



会場の様子



二階俊博 全土連会長



鈴木憲和 農林水産大臣



全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤金日子

農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動

令和8年度の京都府農業農村整備事業の推進に関する予算確保とともに、日本型直接支払制度の活動組織への支援充実、地域に密着した土地改良施設への整備補修や更新支援の拡充などを関係機関等に要望しました。

1 農林水産省、財務省、関係国会議員への要望活動

- 日 時 令和7年11月10日(月)
- 要 望 先 財務大臣他11名、農林水産大臣他16名、関係国会議員6名
(面 会) 財務省 主計局 主計官(農林水産) 宮下 賢章 氏
農林水産省農村振興局 局 長 松本 平 氏
同 局 河村農村政策部長、 石川整備部長
本田太郎 衆議、 吉井章 参議、 進藤金日子参議秘書
- 参 加 者 本 会 田中会長、山崎副会長、田村常務理事
地 元 伊根町農村広域協定運営委員会 松山義宗氏
(京都府議会土地改良議員連盟 近藤議員、兎本議員との合同要望として実施)



財務省主計局 宮下主計官への要望



農林水産省 松本農村振興局長への要望



農林水産省農村振興局 河村農村政策部長への要望



同局 石川整備部長への要望



本田太郎 衆議院議員への要望



(前頁に引き続き)



吉井章 参議院議員への要望

2 京都府、近畿農政局への要望活動

■ 日 時 令和7年12月17日(水)

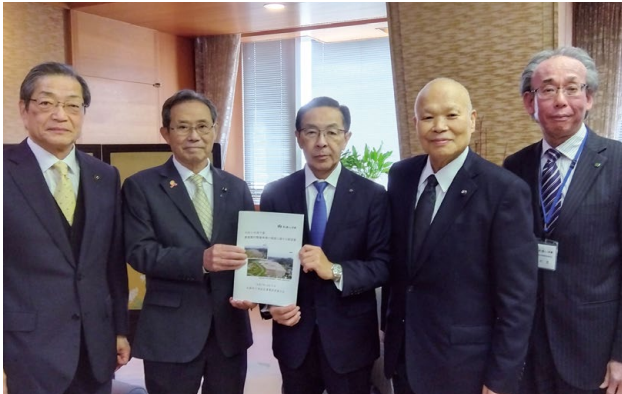
■ 要 望 先 京都府知事 他9名、近畿農政局長 他18名

(面 会)

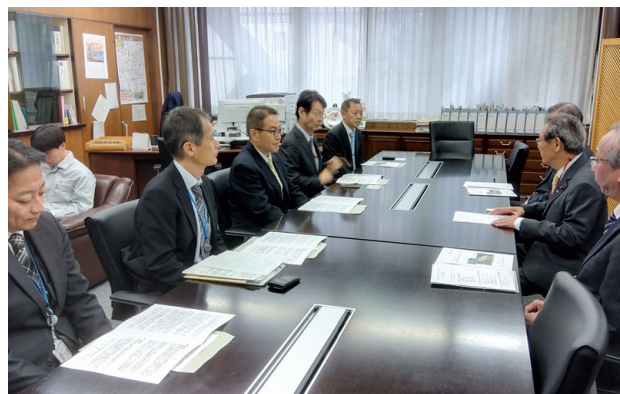
○京都府知事 西脇 隆俊 氏、副知事 鈴木 一弥 氏、農林水産部長 小瀬 康行 氏 他

○近畿農政局長 志知 雄一 氏、次 長 藤河 正英 氏、農村振興部長 平山 周作 氏 他

■ 参 加 者 本 会 田中会長、山崎副会長、近藤副会長、田村常務理事



西脇隆俊 京都府知事 への要望



志知雄一 近畿農政局長 への要望

農業農村整備事業に関する意見交換会（キャラバン）

令和7年10月23日（木）、京都府公館において、「農業農村整備事業に関する意見交換会」が京都府主催により開催されました。

市町村の部課長や土地改良区理事長をはじめ多くの関係者が出席のもと、国予算の理解を深め、府内地域の課題や意見を農林水産省に直接伝える良い機会となりました。

■ 出席者	農林水産省農村振興局整備部 齋藤 農村整備調査官 はじめ	4名
	近畿農政局農村振興部 鈴木 事業計画課長 はじめ	4名
	府内土地改良区、市町村、京都府、京都府土地改良事業団体連合会	25名



齋藤農村整備調査官と意見交換会の様子



熱心に聞き入る出席者

令和8年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和8年度政府予算案が令和7年12月26日に閣議決定（概算決定）され、7年度補正予算と合わせて、8年度の農業農村整備事業関係予算についての概要は以下のとおりです。

- (1) 令和8年度当初予算： 4,504億円（概算決定）
- (2) 令和7年度補正予算： 2,439億円（令和7年12月16日成立）

これにより、令和8年度執行可能な予算（（1）と（2）の合計）は、6,942億円となり、対前年度442億円の増額となっています。

なお、予算の詳細及び推移については、次頁のとおりです。

○対前年度比較

（単位：億円）

	補 正	当 初	計
7年度執行可能予算 (R6補正+R7当初)	2,037	4,464	6,500
8年度執行可能予算 (R7補正+R8当初)	2,439	4,504	6,942
増 減 額 (対比、%)	+ 402 (119.7%)	+ 40 (100.9%)	+ 442 (106.8%)

※計数は四捨五入によっているので、端数において合計と一致しない場合があります。

(前頁に引き続き)

○令和8年度当初予算

(単位：億円)

種 別	予 算 額
・農業農村整備事業（公共）	(3,331) 3,365
・農業農村整備関連事業（非公共） 農地耕作条件改善事業・大区画化等加速化支援事業 畑作等促進整備事業・農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業生産基盤情報通信環境整備事業・農村漁村振興交付金	(548) 554
・農村漁村地域整備交付金（公共）（農業農村整備分）	(584) 584
計	(4,464) 4,504

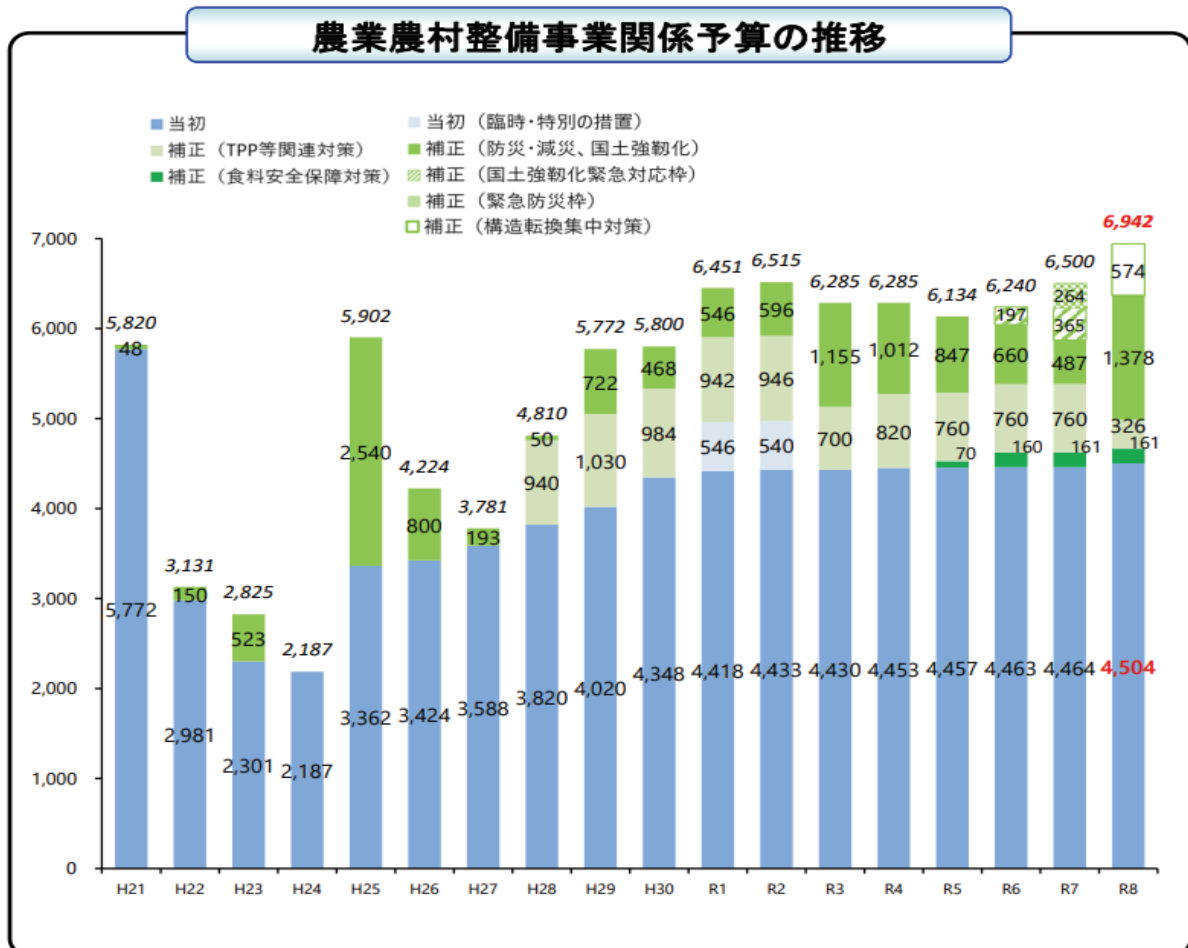
※予算額上段（ ）書きは、令和7年度当初予算額

○令和7年度補正予算

(単位：億円)

種 別	予 算 額
・構造転換集中対策	(2,037) 2,439
・防災・減災、国土強靱化対策	
・TPP等関連対策	
・食料安全保障対策	

※予算額上段（ ）書きは、令和6年度補正予算額



令和7年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会

「新たな食料・農業・農村基本計画」では、食料供給能力の確保のため、農地の大区画化や水利施設の保全管理などの対策が掲げられており、これまでから土地改良施設の管理や整備を通じて農業・農村を支え、多面的機能の発揮に貢献するなどの役割を担ってきた土地改良区の活動に大きな期待が寄せられています。

このため、改めて土地改良区のあるべき姿、期待される姿を再認識し、また、土地改良区等の危機管理として土地改良施設を対象とした損害賠償責任保険や傷害保険について学ぶ研修会を下記のとおり開催しました。

- 日 時 令和7年12月19日(金)
- 場 所 キャンパスプラザ京都(京都市下京区)
- 参加者 土地改良区の役職員等約70名
- 内 容 ① 我が国の食料安全保障と今後の土地改良政策
全国土地改良事業団体連合会 専務理事 室本 隆司氏
- ② 土地改良区等における危機管理について
 - 施設賠償責任保険・傷害保険について
共栄火災海上保険株式会社 小島 啓志氏
 - 安全管理の徹底について
京都府農林水産部農村振興課 主任 米田 佳史氏



本会田村常務理事
主催者挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問
進藤金日子参議院議員ビデオメッセージ



全国土地改良事業団体連合会
室本専務理事の講演



共栄火災海上保険株式会社
小島氏の講演



京都府農村振興課
米田主任の講演



研修会場の様子

京都水土里ネット女性の会の取組

令和7年度近畿ブロック女性理事意見交換会

令和7年12月1日(月)、ホテルグランヴィア和歌山(和歌山県和歌山市)において、近畿水土里ネット連合協議会(当番県：和歌山県土地改良事業団体連合会)主催により、令和7年度近畿ブロック女性理事意見交換会が、近畿6府県の土地改良区女性理事ら74名が参加のもと開催されました。

牧千瑞全国水土里ネット土地改良広報センター所長より、「土地改良区の理事に必要な事項について」と題して講演があり、その後、「土地改良区のこれからを考える」をテーマに、土地改良区の運営強化に関する課題や解決策などのグループワークが行われました。本会からは森本明代京都水土里ネット女性の会会長を含めた6名が参加しました。

その後、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問より「土地改良は日本の命綱」と題して土地改良をとりまく情勢について基調講演が行われました。

グループワークでの意見(抜粋)

- ・ 会議では専門用語が多く、意見を述べられずにいたが、今回、土地改良事業の基礎を学ぶことができ、有意義な時間となった。
- ・ 理事として関わる中で、土地改良区が日頃から取り組む施設管理の大変さを実感した。



グループワークの様子



リモートでの基調講演の様子

地域の農業農村風景の紹介 ～京都水土里ネット女性の会より発信～

京都水土里ネット女性の会の会員による京都府内各地の農業農村風景として、地域の伝統行事、地域保全、美化活動などを紹介します。

『祝園神社のいごもり祭』

精華町祝園神社にて令和8年1月10日～12日に「いごもり祭」が行われました。

右の写真は、2日目に行われる「御田おんだの儀」を撮影しました。「御田の儀」では、五穀豊穡を祈り、大松明を担いで祭場へ向かいます。かつては祭りの間、住民は神を迎えるため、決して音をたてないように、家の中に籠ることになっていました。

現在、このような風習はすたれてきましたが、祭は受け継がれており、地域の伝統行事としてしっかりと根付いています。

情報提供：京都水土里ネット女性の会 森本会長



令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修

令和7年12月8日(月)、京都経済センター(京都市下京区)において、令和7年度土地改良区運営基盤強化推進研修が全国土地改良事業団体連合会主催により開催されました。

京都府内の土地改良区役職員等約40名の皆様に出席いただき、前田仁全国土地改良事業団体連合会上席参与より「土地改良区の現状と課題について」、金内琴美同連合会支援部次長より「経営診断(収支分析、施設更新積立)について」、同じく勝海匠主事より「土地改良区の会計経理について」それぞれ講義いただきました。



研修の様子

令和7年度換地事務新規担当者研修会



研修の様子

令和7年8月28日(木)・29日(金)の2日間、サンガスタジアム by KYOCERA(亀岡市)会議室において、令和7年度換地事務新規担当者研修会を開催し、京都府及び市町の担当職員11名が受講されました。

1日目は、谷川航一近畿農政局農村振興部土地改良管理課土地改良指導官より土地改良法について、同じく細溪拓男土地改良管理課農地集団化推進官より換地理論について、會澤仁史京都府農業会議農村創生部担当部長並びに小森聡農地中間管理事業推進室長より農地関係法令について、それぞれ講義いただきました。

2日目は、本会職員から、ほ場整備事業実施のための地区境界の確定、換地設計基準、土地評価、換地計画原案の作成、相続法について講義しました。

令和7年度農業水利施設省エネルギー化技術実践向上研修

近年増加傾向にある施設の維持管理費などに苦慮されている施設管理者の一助となるよう、府内の農業水利施設の省エネルギー化事例の紹介等を行うことで、農業用施設の省エネルギー化を推進することを目的として下記のとおり研修会を開催しました。

■ 会 場：【南部会場】

令和7年9月2日(火) YIC京都(京都市下京区)

【北部会場】

令和7年9月3日(水) 綾部市ものづくり交流館(綾部市)

■ 参加者：土地改良区の役職員等 32名

■ 内 容：① 農業水利施設の省エネルギー化に関する情報提供

講師：京都府土地改良事業団体連合会

② 農業用水路の漏水対策技術のご紹介(目地補修)

講師：オート化学工業株式会社、茶谷産業株式会社

③ ため池遠隔監視システム導入事例

講師：京都府土地改良事業団体連合会

④ 遠隔監視システム導入事例-遠隔監視・操作技術の紹介-

講師：日本ソフト開発株式会社

⑤ 適正化事業 防災減災機能等強化事業の紹介

講師：京都府土地改良事業団体連合会

⑥ 省エネルギー化対策関連事業の紹介

講師：京都府農林水産部農村振興課



南部会場の様子



北部会場の様子

来年度も省エネルギー化に関する研修を実施予定ですので是非ご参加ください。

令和7年度農業農村整備技術実践向上研修

令和7年度農業農村整備技術実践向上研修を開催しました。令和7年11月12日(水)にYIC京都(京都市下京区)において18名、令和7年11月13日(木)に綾部市ものづくり交流館(綾部市)において18名に参加いただきました。水中ポンプの制御盤やため池工事に利用できる土質改良技術について学んでいただくとともに、土地改良施設の機能低下の防止、機能回復等を目的とする水利施設の補修の補助事業である土地改良施設維持管理適正化事業の事務手続について本会職員から紹介しました。



京都会場



京都会場



綾部会場

水土里相談の取組

令和7年7月から8月にかけて各支部(13支部)に出向いて実施する水土里相談を開催しました。

相談には、京都府から農林水産部農村振興課、各広域振興局地域づくり振興課の担当職員にも出席をいただき、「連携管理保全計画(水土里ビジョン)」「農業用排水路における安全管理」「水利施設管理強化事業」等についての情報提供と、行政の立場からの助言、指導をいただきながら、会員からの相談等に応えました。

その後、会員それぞれの課題や要望事項を把握し、国や府への要望活動に反映させるため、意見交換を実施しました。

相談内容と件数の推移

項目	4年度	5年度	6年度	7年度
	件数	件数	件数	件数
1 土地改良区の運営	11	25	21	22
2 土地改良施設	15	10	5	11
3 会員支援事業	2	8	5	3
4 補助事業制度	0	20	9	1
5 要望、その他	9	20	17	13

水土里相談の開催風景



京都支部

弁護士相談会を初めて実施

令和7年12月9日(火)、京都府自治会館役員室において、本会が顧問契約している弁護士法人田中彰寿弁護士事務所による弁護士相談会を実施しました。

相談会では、会員3土地改良区からのそれぞれの困りごとについて、弁護士から法的見解や法令等解釈などの助言をいただきました。各1時間程度の相談でしたが、課題解決に向けた糸口を見つけてもらうなど、今後の円滑な運営につながることを期待いたします。

相談者からは、これまでの経過や考え方を再整理でき、交渉に対する知識を示唆いただいたことや、誰にどのように相談すればよいのか分からなかったなかで、一定の整理ができた、などの感想をいただきました。



相談会の様子

京都府農林水産フェスティバル2025

令和7年11月29日(土)、30日(日)の2日間、京都府総合見本市会館(京都市伏見区)において、「京都府農林水産フェスティバル2025」が開催されました。

本会からは、農業農村整備の重要性と土地改良区の役割と活動を多くの府民に知っていただくため、広報パネルや写真コンクール入賞作品の展示を行いました。



第22回水・土・里ふるさと写真コンクール
入賞作品の展示



出展の様子

令和7年度京都府農林水産業功労者表彰

令和7年11月29日(土)、京都府総合見本市会館(京都市伏見区)で開催された京都府農林水産業功労者表彰式典において、多年にわたり農林水産業等に関する団体の役員として当該団体の発展に寄与し、農林水産業の振興及び発展への顕著な貢献により、次の5名の土地改良関係者が京都府農林水産業功労者表彰を受賞されました。受賞者の皆様おめでとうございます。

(現) 瓶原土地改良区理事長	石崎 光二 氏
(前) 巨椋池土地改良区理事長	塚原 奈良彦 氏
(前) 京都府土地改良事業団体連合会理事	
(現) 亀岡市牡丹餅堰土地改良区理事	中島 治 氏
(現) 井手土地改良区理事長	中坊 陽 氏
(元) 網野町字俵野土地改良区理事長	吉岡 正秋 氏



代表受領 塚原 奈良彦 氏

土地改良区等紹介

亀岡市亀岡土地改良区

区域：亀岡市余部町・安町・下矢田町・中矢田町・上矢田町
古世町・三宅町・荒塚町

農地面積：田 109.5ha (1,357筆) 畑 0.1ha (2筆) 組合員数：270人 設立：昭和34年9月14日

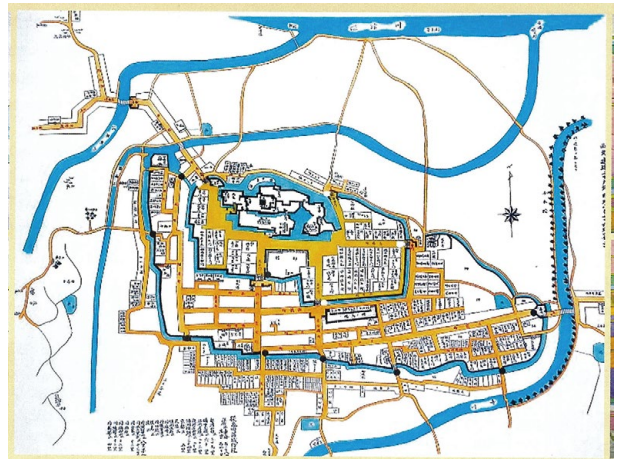
◆沿革

亀岡市亀岡土地改良区は、亀岡市中心部の明智光秀公によって築城された亀山城(当時は丹波の亀山と称され、都に隣接することから松平家など譜代大名が城主だった)の城下町として開けた地域に位置しています。

中心市街地には、JR 亀岡駅、市役所、警察署、消防署や図書館などがあり、城下町地域などに隣接する市街化区域農地において住宅開発がなされてきました。一方、その外郭をなす市街化調整区域では、第2種兼業農家による小規模経営が多く、稲作が中心となっています。また、地域の北西部の余部町・安町地域においては、国営圃場整備事業(40ha)が進められています。

農業用水は、大小16の農業用ため池と一級河川(桂川、曾我谷川、雑水川、年谷川)からの取水によって賄われつつ、町中の湧水も活用されてきました。

特に、地域の南部から東部へ流れる年谷川には、取水のため築かれた一の堰(いちのいね)があります。大岩をくり抜いて作られた用水路について江戸時代に記された「桑下漫録」に「大石大木を以て数丈堰止(中略)田養之水と成爲、亀山町中出火の節上矢田村夫力をして水を流さしむ、此水悉く市中に巡る。」とあるように、古より農業用水が城下を潤し、火災時には消火に使われたことが伺えます。また、地域の西部から北へ流れる雑水川(ぞうずがわ)は、田畑を潤しながら城下外堀を流れるようになっており、城の守りの一役をかつていたことが伺えます。



山陰丹府桑田亀山図

◆農業用ため池の維持管理

農業用ため池については、各地区(集落・農家組合)で維持管理を行っていますが、受益のある地区が協力し共同で維持管理を行っている池もあり、京都府が実施されている「農業用ため池地震・豪雨耐性等評価業務」の調査を受けています。

受益農地の減少により、その役割が減少している池や老朽化により下流の民家に危険を及ぼす可能性のある池については、行政や京都府土地改良事業団体連合会の支援を受け、廃池等の手続きを進めています。

◆国営ほ場整備事業

余部町・安町の内40haは国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」の区画整理エリアとなっています。令和6年から整備工事がすすめられ、令和10年度の工事完成時には大規模ほ場での営農が可能となります。

◆今後の課題

市街化区域では、農地の減少に伴い、農家数の減少に加えて高齢化もあり、池の堤防の草刈り等の人員確保や老朽化しつつある既存施設の維持管理に苦慮している状況です。市街化調整区域においても、後継者の育成をはじめ農家組合等と連携の強化を図り、地域農業の振興を推し進めていく必要があります。

おすすめ

スポット



こせ
古世親水公園

亀山城の外堀に当たり、亀山城や城下町は年谷川が形成した扇状地の上に立地し、いたるところに湧き水があります。以前は、生活用水として炊事・洗い場などに利用され、下流域では田畑を潤す水となっていました。

叙勲受章者の紹介

土地改良関係者が叙勲を受章されました。



令和7年11月3日付け

旭日双光章(地方自治功労)

中 坊 陽 氏

(現)井手土地改良区理事長



令和7年11月3日付け

旭日単光章(土地改良事業功労)

澤 田 晶 介 氏

(前)三俣土地改良区理事長

非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は土地改良区等が国からの補助を受けず、ほ場整備や土地改良施設の整備事業に取り組む際に、日本政策金融公庫等が土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。なお、府や市町村が単独で行う補助事業も、融資の対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい事業、排水設備整備、ほ場整備、客土、農道、索道、農地造成、防災、農業集落排水(宅内の整備含む)、事務所、事務機器、車両、調査費など。

■融資条件

ご利用いただける方 : 土地改良区、土地改良区連合等
償 還 期 限 : 最長25年(据置期間10年以内)
融 資 限 度 額 : 地元負担金(最低限度額50万円)
金 利 : 2.5%(令和8年1月20日現在)

融資のご相談・
お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、京都府土地改良事業団体連合会、
日本政策金融公庫京都支店 農林水産事業融資課 (075-211-2147)

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組

第16回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

本コンクールでは、農と水と環境を良好に保全する地域ぐるみの活動の大切さを子どもたちに気づいてもらい、併せて、本コンクールの広報活動を通じて、広く府民への周知を図ることを目的に実施しています。本年度は274点の応募の中から、令和7年10月9日(木)開催の審査会を実施し、知事賞他16点の入賞作品が選定されました。京都府知事賞には、小学校低学年以下の部に深見彩華様(小1 精華町)、小学校高学年以上の部に高根一葉様(小5 福知山市)が受賞されました。

表彰式と入賞作品の展示を令和7年11月29日(土)、30日(日)に京都府総合見本市会館(京都市伏見区)で開催された「京都府農林水産フェスティバル2025」において行いました。



表彰式の様子



展示の様子

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰

同表彰は、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、日本型直接支払制度及びその推進に資する地域ぐるみで効果の高い活動や、先進的な取組を実践している優良な組織等を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良表彰を実施しています。

本年度は令和7年10月28日(火)開催の現地ヒアリング及び審査会を実施し、知事賞他の受賞組織が選定されました。京都府知事賞には、二箇環境向上委員会(京丹後市)が受賞されました。

表彰式と受賞組織の活動紹介パネル展示を令和7年11月29日(土)、30日(日)に京都府総合見本市会館(京都市伏見区)で開催された「京都府農林水産フェスティバル2025」において行いました。



表彰式の様子



展示の様子



受賞作品・活動組織紹介パネルは、協議会ホームページに掲載しております。

◀京都府農地・水・環境保全向上対策協議会ホームページ
<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>

京都府ため池サポートセンターの取組

防災重点農業用ため池の適切な管理及び保全に資するため、本会が京都府農業用ため池管理保全サポート協議会(以下「協議会」)事務局として活動してきましたが、令和7年9月から、京都府が京都府ため池サポートセンター(以下「サポートセンター」)を設置し、本会がその活動を受託業務として活動することになりました。

サポートセンターでは、防災重点農業用ため池にかかる相談対応、現地調査、研修、普及啓発活動等、これまでの取組を引き継ぎ各地域に配置の地域指導員とともに更なる充実が図れるよう積極的に支援してまいります。



【現地指導・研修会状況】

「農業用ため池」の管理について
ため池管理者のみなさまを支援する

京都府ため池サポートセンター

「京都府農業用ため池管理保全サポート協議会」に代わり活動します。

設置 令和7年9月1日

日常、どのように管理や点検をすればよいか
管理者の皆様のご相談を直接受け付けます

京都府ため池サポートセンター【設置者:京都府】

【担当窓口】
京都府土地改良事業団体連合会(ため池サポート課)
〒602-8054
京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2
京都府庁西別館

連絡先 TEL (075)451-4137
FAX (075)414-2777

「次のような支援活動をします」

相談対応 ため池の管理に関する相談をお受けします	現地調査指導 ため池の現状を管理者の要請に基づいて点検します	研修会開催 ため池の管理に関する技術的な助言や研修・講習を行います
------------------------------------	--	---

ため池が危険な状態など緊急の場合、ため池の管理者でない方のご相談は、ため池の所在する市町村の担当窓口をお願いします

「ため池の日常の管理とは(例)」

堤体の草刈り 亀裂、陥没、変形、モグラの穴などを確認しましょう	ため池の草刈り
定期的な点検 漏水の有無、洪水吐や取水施設が壊れていないか確認しましょう	洪水吐は× 流木やゴミ、草木は除去し、越水の原因となる土のうや角落しによる嵩上げはやめましょう
洪水吐の掃除 流木やゴミ、草木は除去し、越水の原因となる土のうや角落しによる嵩上げはやめましょう	大雨の前は事前の減水 少しの減水でも効果があるので、大雨が予想される時は、ため池栓を抜いて水位を下げておきましょう

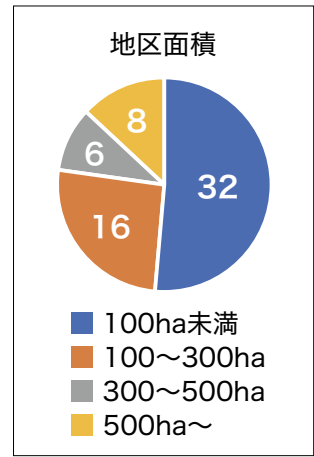
※「管理者のためのため池点検マニュアル」(京都府)を参考にしています

土地改良区運営実態等調査について

農林水産省の調査事業として4年毎に実施される土地改良区運営実態等調査について、昨年9月の農繁期の多忙のところ、会員土地改良区の皆様には調査票への記入の協力をいただき誠にありがとうございました。

この調査で回答のあった62土地改良区が管理する土地改良施設の総数は、用水路1,077km、排水路705km、農道562km、ため池552箇所、揚水機507箇所となり、多くの施設を土地改良区が管理されており、これらを管理する土地改良区の状況は、地区面積100ha未満が半数を超える結果となりました。

今後、調査結果は、全国集計されますので、必要に応じて情報提供いたします。



水土里ビジョンの策定について

水土里ビジョンは、農業集落の小規模化・高齢化の進行、老朽化する施設の維持更新費用の増大、土地改良区職員の人手不足等々の問題に対応するため、地域の農業水利施設等を適切に保全していく将来像を、土地改良区と市町村や水利組合、多面的機能支払の活動組織等の関係者で共有し、連携して保全の取り組みを推進する体制を構築するための計画(「連携管理保全計画」)です。(詳細は「京都の土地改良」令和7年7月号農政情報を参照願います。)

本会では、水土里ビジョン策定の基礎資料にも活用できる「土地改良区の経営診断」を、令和7年度から5年間で、全会員土地改良区を対象に進めております。また、策定する場合に必要な保全施設の諸元整理やデータの電子化等のお手伝いも国の補助事業で可能です。お気軽にご相談ください。

●土地改良区機能強化支援事業 (R7~R11まで)

水土里ビジョンの策定に必要な経費を支援

補助対象経費 ・施設諸元や、耐用年数診断のための調査 ・施設諸元データの電子化等 ・運営に係る掛増し事務補助(臨時職員等) ・会議室借上げ等	事業主体: 土地改良区 補助率: 定額(1ビジョン当たり300万円を上限) <支援の活用にあたって> 事業主体である土地改良区が都道府県土連に委託してビジョン策定に取り組むことも想定。 上限300万円の範囲内で複数年度に分けて活用することも可能。
---	--

●本会が実施する「土地改良区の経営診断」 (R7~R11まで、全会員土地改良区対象に順次実施中)

決算関係書類等により土地改良区の経営状況を分析し、運営効率化対策や、円滑な施設更新のための検討・助言等(水土里ビジョンを策定する場合の活用例) 水土里ビジョンには、経営診断結果及び経営診断結果に基づく対応方針を記載する。

●水土里ビジョンを策定した場合のメリット措置(掲載は一部抜粋です)

土地改良区機能強化支援事業	水土里ビジョンに位置付けられる合併について、支援基準を緩和(水土里ビジョンを策定する場合「合併後の面積300ha以上」を撤廃)
土地改良区施設維持管理適正化事業	整備補修事業のうち、水土里ビジョンに位置付ける施設の整備補修について、補助率を引き上げる(補助率30%→40%)とともに、資金の造成に財政融資資金を活用することにより、任意の年度に実施可能(基本的には加入初年度に実施)。

今後の行事予定

行事	日時	場所
第69回通常総会	令和8年3月8日(日) 13時30分~	京都府庁旧本館旧議場
令和8年度京都府農業農村整備事業推進大会	令和8年6月20日(土) 午後	国立京都国際会館
第48回全国土地改良大会奈良大会	令和8年11月17日(火)~18日(水)	奈良県コンベンションセンター(奈良県奈良市)



～未来につなごたい京都の農業農村～
水・土・里ネット京都 京都府土地改良事業団体連合会



どなたでも応募OK!
スマホの写真もOK!

写真

第23回 水・土・里 ふるさと コンクール

〈応募期間〉 令和8年3月13日(金)まで



作品募集

これまでの
受賞作品を
Check! ▶



「水・土・里」をテーマとした、地域の自然環境や
景観、農業や農業用施設との関わり、
人とのつながりを写した写真を募集します。

お問い合わせ

〒602-8054

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2

京都府庁西別館 京都府土地改良事業団体連合会

TEL (075) 451-4137 E-mail info@midorinet-kyoto.jp

<http://www.midorinet-kyoto.jp>



※詳細は上記ホームページ記載の応募要項をご覧ください。